

① 母音

◀1-003

日本語でいう [ア、イ、ウ、エ、オ] です。

発音記号	発音の仕方（唇のかまえ）	
[i] [イ]		日本語の [イ] より唇を左右両端に引き締めて、[イ] と発音します。
[e] [エ]		日本語の [エ] より唇を左右両端に引き締めて、[エ] と発音します。
[ɛ] [エ]		[e] の唇のかまえより少し口を広く開けて、[エ] と発音します。
[a] [ɑ] [ア]		日本語の [ア] とほぼ同じ発音ですが、[a] は口の前の方で、[ɑ] は口の奥の方で発音します。
[o] [オ]		日本語の [オ] より唇を丸く前に突き出して、[オ] と発音します。

発音記号	発音の仕方（唇のかまえ）	
[ɔ] [オ]		日本語の [オ] より口をやや大きく上下に開け唇を丸く前に突き出して [オ] と発音します。
[ø] [ウ]		[o] の唇のかまえで [ウ] と発音します。
[œ] [ウ]		[ɔ] の唇のかまえで [ウ] と発音します。
[ə] [ウ]		日本語の [ウ] に近く、軽く [ウ] と発音します。
[u] [ウ]		日本語の [ウ] より唇をすぼめ、丸く前に突き出して [ウ] と発音します。
[y] [ユ]		[u] の唇のかまえで [ユ] と発音します。日本語の [ユ] ではありません。

[2]

(1) 音声を聞きながら、フランス人の発音に合わせて発音練習をしてみましょう。
 (1回目→左から右・2回目→上から下)  1-017

ra	ré	rè	rê	re
ry	ro	re	ru	ri
rha	rho	rhé	rhu	rhi
ar	or	ur	ir	er [ɛr]

(2) 単語の読み取り練習をしてみましょう。

(上から下)  1-018

rat	ネズミ	ruche	蜜蜂の巣	arme	武器
radis	ラディッシュ	rhume	風邪	carton	段ボール箱
râpe	おろし金	régime	体制	marché	市場
rôti	ロースト	réaction	反応	ordre	順序
robe	ドレス	récépissé	受領書	porte	ドア
roche	岩	rêve	夢	urbain	都市の
repas	食事	crème	クリーム	urgence	緊急
repos	休息	riz	米	sortir	外出する
regard	視線	rire	笑う	offrir	プレゼントする
rue	通り	rythme	リズム	mer	海
ruban	リボン	Rhin	ライン川	vernis	ニス

[3]

(1) 音声を聞きながら、フランス人の発音に合わせて発音練習をしてみましょう。
 (1回目→左から右・2回目→上から下)  1-019

lo	lé	lê	lè	ly
la	lu	le	li	lu
al	ol	el	ul	il

(2) 単語の読み取り練習をしてみましょう。

(上から下)  1-020

lapin	うさぎ	lycée	高校	volcan	火山
larme	涙	lune	月	récolte	収穫
place	広場	lumière	光	bocal	広口ビン
loto	ロト	volume	体積	cheval	馬
local	地方の	léger	軽い	utile	役立つ
pilote	パイロット	lèvre	唇	ultra	極右の
lire	読む	lecture	読書	calcul	計算
lilas	ライラック	légume	野菜	label	ラベル
lys	百合	tellement	とても	miel	蜂蜜
lyre	豎琴	bol	大コップ	tunnel	トンネル

8 課 冠詞

フランス語は、名詞だけでは観念を表すにすぎず文として成立しません。ですので原則として、名詞の前に冠詞・または他の限定詞をつけることによって、その名詞を具体的（性・数など）に示すことができるのです。ここでは、その各冠詞について見ていくことにしましょう。

① 不定冠詞

◀2-004

男性単数	女性単数	男女複数
un [アン]	une [ユヌ]	des [デ]

発音	男性単数 / 男性複数		女性単数 / 女性複数	
子音の前	un stylo [アン スティロ]	des stylos [デ スティロ]	une robe [ユヌ ホーブ]	des robes [デ ホーブ]
母音の前	un arbre [アンナフブル]	des arbres [デザフブル]	une école [ユネコール]	des écoles [デゼコール]
無音hの前	un homme [アノム]	des hommes [デゾム]	une histoire [ユニストワール]	des histoires [デズィストワール]
有音hの前	un hibou [アン イブ]	des hiboux [デ イブ]	une hache [ユヌ アッシュュ]	des haches [デ アッシュュ]

不定冠詞（英語の a, an に相当）は、「1つの～、ある～」「いくつかの～」と数えられる名詞で、初めて話題にする名詞や不特定の名詞の前につけます。

un pinceau (1本の) 筆 → **des pinceaux** (数本の) 筆
[アン パンソ] [デ パンソ]
une femme (ある) 女性 → **des femmes** (何人かの) 女性
[ユヌ ファム] [デ ファム]
un œuf (1個の) 卵 → **des œufs** (何個かの) 卵
[アンヌフ] [デズ]

② 定冠詞

◀2-005

男性単数	女性単数	男女複数
le (l') [ル]	la (l') [ラ]	les [レ]

発音	男性単数 / 男性複数		女性単数 / 女性複数	
子音の前	le stylo [ル スティロ]	les stylos [レ スティロ]	la robe [ラ ホーブ]	les robes [レ ホーブ]
母音の前	l'arbre [ラフブル]	les arbres [レザフブル]	l'école [レコール]	les écoles [レゼコール]
無音hの前	l'homme [ロム]	les hommes [レゾム]	l'histoire [リストワール]	les histoires [レズィストワール]
有音hの前	le hibou [ル イブ]	les hiboux [レ イブ]	la hache [ラ アッシュュ]	les haches [レ アッシュュ]

定冠詞（英語の the に相当）は、特定・または総称する名詞の前につけます。

(1) 特定される場合—「その～、あの～、いつもの～」

(a) 両者間で既に話題になった特定の名詞に。

Voici une robe. La robe est bleue.

[ヴォワスイ ユヌホーブ ラホーブ エ ブル]

ここに（1枚の）ワンピースがあります。そのワンピースは青色です。

(b) 前置詞 de を伴って限定されている名詞に。

Voici un cahier. C'est le cahier de Louis.¹

[ヴォワスイ アンカイエ セルカイエ ドゥルイ]

ここに（1冊の）ノートがあります。それはルイのノートです。

(c) 両者間で当然として特定化されている名詞に。

Il y a un cendrier sur la table.

[イリヤ アンソンドリエ スュールラターブル]

机の上に灰皿があります。

(d) 唯一・1つしかない名詞や固有名詞に。

le soleil 太陽 **la mer** 海 **la Terre** 地球
[ル ソレイユ] [ラ メール] [ラ テール]

le Japon 日本 **les Alpes** アルプス山脈 **la Seine** セーヌ川
[ル ジャポン] [レザルプ] [ラ セーヌ]

1 ⇒ 多少意味は異なりますが、限定されている名詞に不定冠詞をつけることもあります。

C'est **un** cahier de Louis. それはルイのノートです。(何冊か持っているノートのうちの1冊)
[セタンカイエ ドゥルイ]

→ **voici, c'est, il y a** などの提示表現については (p.96)。

57 課 接続法過去

続いて、接続法過去について見てみましょう。

① 活用

🔊 2-097

助動詞 (avoir, être) の接続法現在 + 過去分詞					
donner			rester		
que j'	aie	donné	que je	sois	resté(e)
<small>[クジエドネ]</small>			<small>[クジュソワレステ]</small>		
que tu	aies	donné	que tu	sois	resté(e)
<small>[クテュエドネ]</small>			<small>[クテュソワレステ]</small>		
qu' il	ait	donné	qu' il	soit	resté
<small>[キレドネ]</small>			<small>[キルソワレステ]</small>		
que nous	ayons	donné	que nous	soyons	resté(e)s
<small>[クスゼイヨンドネ]</small>			<small>[クスソワイヨンレステ]</small>		
que vous	ayez	donné	que vous	soyez	resté(e)(s)
<small>[クヴゼイエドネ]</small>			<small>[クヴソワイエレステ]</small>		
qu' ils	aient	donné	qu' ils	soient	restés
<small>[キルゼドネ]</small>			<small>[キルソワレステ]</small>		

② 用法

🔊 2-098

用法は接続法現在に準じますが、主節に対し従属節の接続法過去が、過去または未来完了を表します。(p.250)

Elle est furieuse **que** vous n'ayez pas répondu à sa lettre.

彼女はあなたが返事をよこさなかったことにカンカンです。

Nous ne croyons pas **qu'** il se soit trompé d'heure.

私たちは彼が時間を間違えたとは思わない。

Je te prêterai mon dictionnaire **pourvu que** tu me l'aies rendu avant la fin du mois.

月末までに返してくれるなら、辞書を貸してあげるよ。

➔ 主節と従属節の主語が同じ場合は、不定詞複合形（上記）を用います。

Elle regrette de ne pas y **être allée**.

彼女はそこへ行かなかったことを後悔している。

Elle regrette **qu'** il n'y **soit pas allé**.

彼女は彼がそこへ行かなかったことを残念に思っている。

58 課 接続法半過去

これから取り上げる接続法半過去・大過去は、主節が直説法過去（複合過去、半過去、単純過去など）・または条件法の場合に従属節で用いられる時制ですが、今日ではほとんど用いられず、特に会話では接続法半過去は接続法現在で、接続法大過去は接続法過去で代用されています。ただし、文学作品では文語（特に3人称）として用いられることもありますので、見ていくことにしましょう。

① 活用

🔊 2-099

直説法単純過去 2 人称単数から語尾 **-s** を除き、そこに接続法半過去の語尾をあてはめて作ります。

語尾	aimer (tu aimas)	finir (tu finis)	savoir (tu sus)
que je -sse <small>[ス]</small>	que j aimasse <small>[クジェマッス]</small>	que je finisse <small>[クジュフィニッス]</small>	que je susse <small>[クジュスユッス]</small>
que tu -sses <small>[ス]</small>	que tu aimasses <small>[クテュエマッス]</small>	que tu finisses <small>[クテュフィニッス]</small>	que tu susses <small>[クテュスユッス]</small>
qu'il -^t	qu' il aimât <small>[キレマ]</small>	qu' il finît <small>[キルフィニ]</small>	qu' il sût <small>[キルスユ]</small>
que nous -ssions <small>[スイヨン]</small>	que nous aimassions <small>[クスゼマッスイヨン]</small>	que nous finissions <small>[クスフィニッスイヨン]</small>	que nous sussions <small>[クススユッスイヨン]</small>
que vous -ssiez <small>[スイエ]</small>	que vous aimassiez <small>[クヴゼマッスイエ]</small>	que vous finissiez <small>[クヴフィニッスイエ]</small>	que vous sussiez <small>[クヴスユッスイエ]</small>
qu'ils -ssent <small>[ス]</small>	qu' ils aimassent <small>[キルゼマッス]</small>	qu' ils finissent <small>[キルフィニッス]</small>	qu' ils sussent <small>[キルスユッス]</small>